

● 事例紹介 ●

ポーターアイ4大学による連携事業からの報告

金芳 外城雄

（ポーターアイ4大学連携推進センター長
神戸学院大学「防災・社会貢献ユニット」教授）

一 安全・安心・健康のための総合プログラム

文部科学省の平成二〇年度「戦略的・大学連携支援事業」の第一号に、神戸学院大学、神戸女子大学、兵庫医療大学の第一号に、神戸学院大学、神戸女子大学、兵庫医療大学が認定されました。申請区分は「総合的連携型（地元型）」です。この4大学が、神戸市中央区の人工島ポーターアイランドに進出したのは、既存の神戸女子大学、神戸女子短期大学を除き平成一九年四月のことです。それ以降、4大学では合同オープンキャンパスなどを通じて連携を深めてきましたが、それらをベースにして新たな連携事業に取り組むこと

二 本事業の概要

このポーターアイ4大学連携は、立地条件や各大学の利点を活かすことで、高度な研究・教育を行いつつ4大学のより効率のよい安定した大学経営を実現させ、地域社会とともに生きることを目的とするものです。

具体的には、横軸と縦軸という二つのコンセプトから成り、横軸は、連携のベースとなる「入試広報」「図書館」「学生」「教務」「エクステンション（就職支援）」「社会貢

になりました。4大学の位置図は図1のとおりです。



図1

献」の連携です。縦軸としては、4大学共通の課題、地域社会からの要請にそったプロジェクトとし、そのプロジェクトは、大学の使命である「研究」「教育」「学生支援」「社会貢献」「生涯学習」の各フェイズにおいて有効に機能していくことを目指しています。

そしてプロジェクト連携としては、「ポーターアイ防災推進プロジェクト」と「ポーターアイ健康推進プロジェクト」という二つのプロジェクトで実施していきます。なお、この連携は、神戸市や消防、警察、企業、地元自治会などの協力関係の上で推進していくことが極めて重要となります。

また、このポーターアイ4大学連携事業は、一〇年後を目途に、それぞれの大学の特色、強みを活かしつつ高度な研究・教育活動で連携し、より効率のよい安定した大学経営を実現させ、地域社会に貢献することを目的としています。そして、何よりも4大学の学生がこの事業への参画をとおして幅広い教養を身につけ、自身のキャリアデザイン構築に役立ててほしいと考えています。

三 横軸と縦軸の相互作用

この横軸と縦軸は、ベースとなる横軸の整備によって縦

軸のプロジェクトが機能し、縦軸のプロジェクトを実施する過程で横軸が強化されるというようにお互いがプラスに作用しあいながら連携が深まっていくような関係でもあります。この関係の強化を継続することで、長期的に四大学の強固で安定した連携が確立するものと確信しています。図2はその関連図です。

(1) ポーアイ防災推進プロジェクト

このプロジェクトの基本は「安全・安心」です。あの阪神大震災から一四年になる被災地神戸にとっては重要なキーワードです。今日本は地震活動期に入ったと指摘されています。ポートアイランドに位置する大学として地域と一体となって共に助け合い、いのちを守ることが求められています。

地域防災を強化するためには、防災や防犯を得意分野とする神戸学院大学を中心とする4大学と地域社会、自治体、消防、警察、企業が連携して取り組んでいかなければならないと考えます。二〇〇八年八月には地元自治会、企業、大学が取り組む「港島消防分団」が発足しました。現役学生が地域消防団員として参加するのは全国でも初めてのケースといわれています。学生に災害や犯罪から自分の身を守る能力を身に付けさせることは大学の使命のひとつであり、

さらにその能力を地域社会に還元していく能力と態度を育成していくことも大学の役割です。また、神戸市消防局と一体となって市民救命士講習にも学生がインストラクターの資格を取得して、広く学校や一般市民を対象とした講習も実施し、年間二千人の講習を実施しています。また、未来を担う小中学生を対象とした防災教育を展開しており、地元小学校などでも生きた授業として学生が取り組んでいます。

(2) ポーアイ健康推進プロジェクト

このプロジェクトの基本は「健康・生活支援」です。健康に関しては、強みのある神戸女子大学、兵庫医療大学、神戸女子短期大学がリードしつつ、4大学の学生に自らの健康を管理・維持、増進していく能力や疾病の予防などの対応力を身に付けさせるとともに、その能力を地域社会に還元していく態度を育成していくことが求められています。

また、高齢者の健康と生活を維持、増進するための活動や障害者、子どもたちの体力増進のための地域レベルでのプログラムも必要です。大学として学生の健康を維持、増進させ、地域の健康や生活をサポートするためには、4大学と地域社会、自治体、企業が連携してプロジェクトを組み、健康の維持・増進活動や生活支援活動そして病気の予

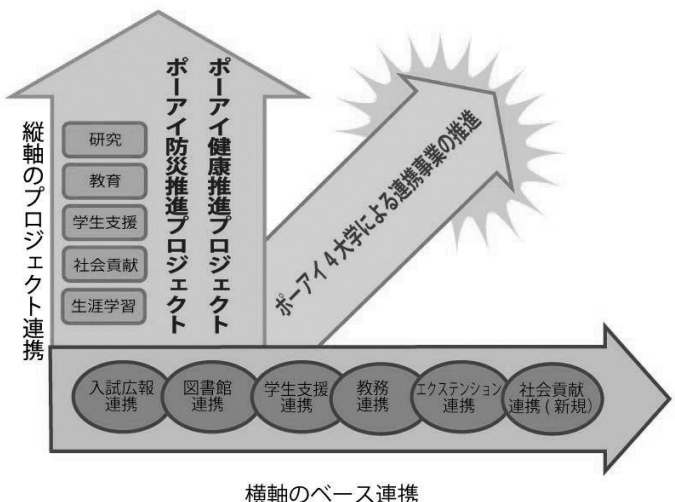


図2

防を推進していくことが重要です。

神戸市は、「神戸2010消防基本計画」において、重点プランとして「地域が主体となって防災力を高めるプラン」を推し進めており、大学によるポートアイランドでの消防団活動に期待をよせています。また、「神戸2010ビジョン 豊かさ創造都市こうべ」のなかで「健康まちづくりプラン」を掲げ、地域における健康づくりやスポーツ振興、高齢者や障害者の支援を目指しており、ポートアイランドでの推進については大学に期待しています。

なお、この横軸と縦軸は、ベースとなる横軸の整備によって縦軸のプロジェクトが機能し、縦軸のプロジェクトを実施する過程で横軸が強化されるというようにお互いがプラスに作用しあいながら連携が深まっていくような関係でもあります。この関係の強化を継続することで、長期的に4大学の強固で安定した連携が確立するものと確信しています

四 横軸のベース連携

(1) 入試広報連携

4大学が合同でオープンキャンパスや入試説明会を開催

することで、ポर्टアイランドの大学群というイメージを形成し、受験生に対して都市共生型大学の利点をアピールしていきます。

(2) 図書館連携

4大学の各図書館は、相互利用することで、量だけではなく多分野にわたり図書が整備され、機能が充実されます。

(3) 学生支援連携

4大学合同による学園祭やスポーツ大会の開催や、学生団体の交流を推進します。

(4) 教務連携

教養科目は合同で開設し、4大学合同による共同科目、カリキュラムの構築を目指していきます。

(5) エクステンション連携

4大学合同による就職対策講座・就職説明会の開催、資格対策講座の実施、インターンシップなど合同で実施することで効率の良い運営が期待できます。

(6) 社会貢献(生涯学習)連携

4大学合同による公開講座や学術講演会の開催により、4大学の教職員、学生、さらに関係自治体・経済団体等のもつ知的財産を市民に対して効率よく提供でき、地域とともに生きる大学群を形成していきます。

五 縦軸のプロジェクト連携

(1) 安全・安心

市民救命士講習会、防災教育教材開発や小中学校の授業展開、宿泊訓練、DMAT(災害派遣医療チーム)研修、研究会の開催、学生消防団活動、防災福祉マップの作成、ライフセービング活動など幅広く防災・防犯に関する取り組みを展開していきます。



学生による市民救命士講習・神戸学院大学



ポーアイ65歳大学・兵庫医療大学



くじらくらぶ・神戸女子大学

- (2) 健康・生活支援
ハートフルフェスタ、市民啓発事業、教材開発、研究会の実施
子育て支援事業(くじらくらぶ)、介護相談、個別健康相談、講演会の開催
- (3) 教育プログラム
平成二二年四月から以下の一〇講座を開設します。4大
学学生が受講できるものです。
- ① 地域コミュニティ入門 前期二単位

- ② 人間関係作りワークショップ 前期二単位
- ③ 防災防犯入門 前期二単位
- ④ 防災防犯ワークショップ 後期二単位
- ⑤ 防災防犯指導論実習 後期一単位
- ⑥ 地域連携インターンシップ I
- ⑦ 同上 II
- ⑧ 健康づくり・生活支援入門 前期二単位
- ⑨ 健康づくり・生活支援ワークショップ
- ⑩ 健康・生活支援指導論実習 後期一単位

六 実施体制を踏まえて

(1) 組織

このプロジェクトを支える事務組織として、平成二〇年一〇月一日から「ポーアイ4大学連携推進センター」を設置し、その下に二つのステーションを設けています(図3)。

(2) Yes We can.

あの震災から一年後の慰霊の式典で、息子さんを「くられたお父さんが「I am. I can.」

特集・大学間連携

（私は生きている、生きている限りあなたの夢と希望を受け継ぎます）と、映画シュガーヒルの一場面を想定した言葉を残されたのを今も鮮明に覚えています。時代は大きく変化しています。しかし、私たちはこの変化を乗りこえ、次代をなう将来有為な人材の育成のために、地域とともに生きる大学を目指して全力を尽くしていきたいと考えています。

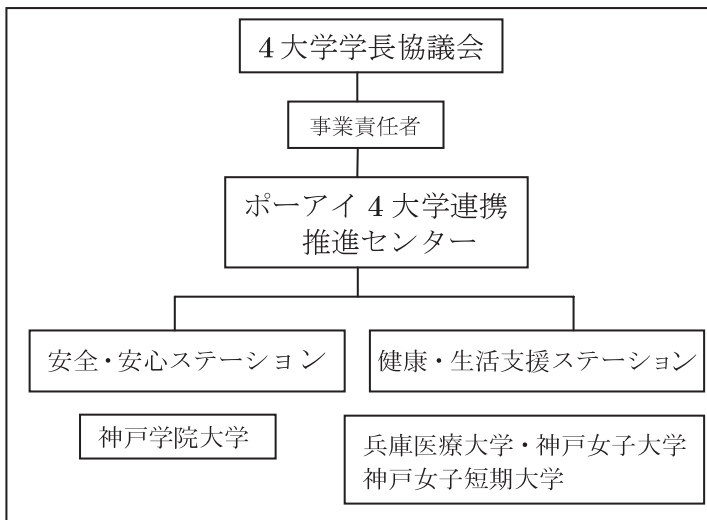


図3